

平成17年6月21日

各 位

会 社 名 株式会社サンオータス
 代表取締役社長 北 野 俊
 (J A S D A Q コード番号 : 7623)
 問 い 合 せ 先 取締役管理本部長
 古 川 晴 男
 TEL(045)473-1211 (代表)

平成17年4月期 (連結・単独) 業績予想および

期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成16年12月24日付当社「平成17年4月期 中間決算短信 (連結) 」ならびに同日付当社「平成17年4月期 個別中間財務諸表の概要」において発表いたしました平成17年4月期 (平成16年5月1日 ~ 平成17年4月30日) の業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成17年4月期連結業績予想の修正等

(1) 平成17年4月期通期 (平成16年5月1日 ~ 平成17年4月30日) 連結業績予想の修正等

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---|-----------|--------|--------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) (平 成 16 年 12 月 24 日 発 表) | 25,700百万円 | 450百万円 | 220百万円 |
| 今 回 修 正 (B) | 24,597百万円 | 557百万円 | 289百万円 |
| 増 減 額 (B - A) | 1,103百万円 | 107百万円 | 69百万円 |
| 増 減 率 | 4.3% | 23.8% | 31.4% |

(2) 修正理由

売上高は、燃料油を中心とする石油製品の販売が、夏期の記録的な猛暑によるカーエアコン需要の増加等により販売数量が増加し、下期は原油価格高騰により製品価格が上昇したことをうけて、量から質重視の販売政策に転換した結果、販売数量は横ばいとなり、売上高はほぼ予想通りとなりましたが、利益面では大幅な増益要因となりました。

レンタカー事業も、積極的な店舗展開を前期以前より実施した効果が当期に現れた結果、売上高、利益とも予想を上回った実績となりました。

一方、輸入車の販売は、BMW車は期中に本社ショールームを新築と旧本社の売却を並行して実施したこともあり、新車種の投入効果が売上高、利益とも次期にずれ込むこととなりました。

フォード車は新車種の投入と韓流ブームによる在来車の販売が好調でした。ジャガー車については、目立つ新車種の投入がなく、普及型のXタイプの需要が一巡したこともあって計画を大幅に下回る結果となりました。なお、平成17年度については、営業体制を見直すことで平成18年度より売上高ならびに利益の拡大を見込んでおります。その他のビルメンテナンス事業の売上も予想通りとなり、この結果、

グループ全体の売上高は目標比 4.3%減の 24,597 百万円となりました。

経常利益は、単独業績に係わる部門別では、石油製品販売部門、レンタカー部門、フォード車販売の各部門が順調であり、売上高が予想を上回った結果、利益の拡大に寄与しました。

連結対象子会社では、輸入車販売部門は、各社が営業体制の整備を行ったため、売上が各々予想を下回り、利益面でも予想を下回りました。その他のビルメンテナンス事業は予想を上回る実績を上げることができました。

この結果、経常利益は557百万円（当初予想比：107百万円の増加）となりました。当期純利益につきましては、上記の理由により289百万円（当初予想比：69百万円の増加）となりました。

(3) ご参考：前期の実績(平成15年5月1日～平成16年4月30日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------|-----------|--------|--------|
| 通 期 (5月1日～ 4月30日) | 23,536百万円 | 430百万円 | 205百万円 |

2.平成17年4月期単独業績予想の修正等

(1) 平成17年4月期通期(平成16年5月1日～平成17年4月30日) 単独業績予想の修正等

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------------------------------|-----------|--------|--------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) (平成16年12月24日発表) | 18,000百万円 | 370百万円 | 180百万円 |
| 今 回 修 正 (B) | 17,858百万円 | 568百万円 | 305百万円 |
| 増 減 額 (B - A) | 142百万円 | 198百万円 | 125百万円 |
| 増 減 率 | 0.8% | 53.5% | 69.4% |

(2) 修正理由

売上高につきましては、カーライフサポート事業は、連結・単独ともに事業内容が同一であり、修正理由、修正額は連結業績と同じ内容であります。

カービジネス事業はフォード横浜が堅調に推移したものの、単独の売上高は17,858百万円と当初予想比0.8%の減少となりました。

経常利益につきましては、カーライフサポート事業部門での石油販売における利益確保、レンタカー事業における増益に加え、フォード横浜での堅調な推移により568百万円（当初予想比：198百万円の増加）となりました。

当期純利益につきましては、上記の理由により305百万円（当初予想比：125百万円の増加）となりました。

(3) ご参考：前期の実績(平成15年5月1日～平成16年4月30日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------|-----------|--------|--------|
| 通 期 (5月1日～ 4月30日) | 17,160百万円 | 343百万円 | 127百万円 |

3. 配当について

期末配当金につきましては、当初1株当たり15円00銭と発表しておりましたが、上記に伴い年間配当金を、今回20円00銭と修正させていただきます。

参考 前期(平成15年5月1日～平成16年4月30日)の1株当たり年間期末配当金15円00銭

以 上